



全教職員集会は中止

24日 雨と学生の阻止行動で

今月二十九日で金華パリケードスト突入以来一度一〇〇日を越える。十月授業再開をあと一週間後に控え、いよいよ学内も緊迫した雰囲気を包まれて来る。大学側は二十四日を予定していた全教職員集会が雨と学生の阻止行動のため中止したが、二十六日対策本部会・評議會懇談会、一十七日職員全組会を開き、十月授業再開問題を討議する。一方、学生側はパリケード徹底の授業再開阻止①大学改革案粉碎——をかかげ、機動隊導入→授業再開を断固阻止する方針である。阻止行動を起す予定の全教職員集会が雨で中止になり、カラ報じに終ったが生田助人共闘など主催の今明討論会(16・21・28日)は予定)が賛成・助手・跡生も参加して活発に行なわれている。また、今明会開も二十九日に当局に因交を申し入れる予定であり、また、体育会は七日に公開講論会を開くことを決めてゐる。十月新学期を控え動きが激しくなっている。

29日に団交を要求 全共闘明

職員集会
24日

24

一
四

十四日には約二五〇人が参集して、いた。このため大字側は午後十時までに機動隊の手に、京大に機動隊が導入される。21日、京大奥田総長の要請により機動隊が導入され封鎖が解除された。カットは22日の京大キャンパス、時計塔は

京大に機動隊
が導入される

から午後八時三十分まで対策本部会を開き、第二回伸ビルで開き、雨のためこの日の集会は一応中止することに、(1)当分この種の集会は中止する。(2)学長の所信表明を印刷して郵送する。(3)中止する代り今月中に各々の教授会を開き教員に説明することなどを決めた。

一方、教職員集会に反対する全共闘各セクト、各闘争委約三五〇人は、この日八幡山グラントドに近い和泉校舎に集まり八幡山に向かおうとしたが、正午過ぎ教職員大會中止の報が入ったため各闘争委員会にて集合を開いた後解散した。

牛田地区各闘争委、政經闘委などは、ブント系約七〇人が前夜から和泉校舎に泊まり込み、この日に備え其他二十四日早朝八時三分頃中地共闘を中心とする四連協体文化闘委など、ソノセクト約五〇人が同校舎に到着、続いで法闘委などは、帝學評、ソノセクト三〇人、ML・中撥系五〇人など、正午までには各セクト、闘争委が集結し、冷たい雨降る和泉校舎に、人々がひしょひしょのシテレヒコールが響きわたった。

しかし、セクト間の折り合いやつかず、ブント系が「号館」 \rightarrow 上番敷室、ML・中撥系が学生会館 \rightarrow 階下ル、反帝學評系が図書館前までそれぞれ別々の集会を持ち、半ナゾセクトも一本にまとまらず、系統集会もないままで二時過ぎまで続いた。

二十三日、明日は各校別職員集会に長崎にて、名セイト別
の「全教職員集会総決起集会」が開かれた。
大学院講義は午後七時から
ブント系学生五〇人が集まり総
決起集会を盛況の日共路線である
自主改革を進めると共にすべての
大学人を全般的戦列に巻き込む
②助兵共闘の内部からの闘い
いを連帯する物理的に全教職員
集会を粉碎し、全教職員のヘゲモニ
ーのものに日本を勝ち取る」と
い、「新たなる明大動争の出発
点」とする決意を決めた。
また、M、中核系学生は六号
館六二、番号で午後七時から
「全明金糞問題」を起集会を七十人
の参加のもと開かれた大学改革委